

工業セバシ

# 検知器ストロー出荷増

## 運送業者向け、衛生面注目

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、ストロー製造販売のシバセ工業（浅口市鴨方町六条院中）は、運送事業者が用いるアルコール検知器用のストローを売り込んでいく。使い捨てできる衛生面が注目され、需要が拡大。外出自粛の影響で生産が減少している飲料用に代わり、出荷を増やしている。

ストローは、市販の検知器に付属するマウスピースの代わり

に使う。各メーカーの検知器に合うよう、さまざまな口径をそろえており、価格は1本1円前後。マウスピース（50〜200円程度）に比べて大幅に安い。

運送事業者は、ドライバの乗車前後などにアルコールの検知が義務付けられている。マウスピースは洗って繰り返し使えるが、感染拡大の影響で衛生面に気を配る事業者が増え、全国から注文が急

増。4月の出荷量は前年同月の約2倍、5月は同3倍になった。

同社はストローの多用途化を目指し、10年

以上前年からアルコール検知器用をはじめとした工業用や、医療器具のカバーといった医療用に注力。設備を導入して生産能力を高めるなどしている。

一方で主力の飲料用は外食向けなどが苦

戦し、4月の出荷量が前年同月比6割減っているという。同社は「厳しい状況下だが、培ってきた技術を生かして工業用や医療用ストローの需要に対応していきたい」としている。

（小野寺万由子）



シバセ工業が製造するアルコール検知器用ストロー。検知器に差して使用する

の影響で自宅を過ごす人は流通させていなかっした1年熟成の純米吟醸無料で、711500〜1